

補足資料

埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム 第9回シンポジウム(令和6年2月8日開催)

NPO法人埼玉ハンノウ大学学長・小野まりが、
はんのう森林プラットフォームおよびはんのう
森林みらい塾の活動について報告を行った。



里山や平地林などの自然環境の保全に関する検討部会
(後列左から3人目が小野、4人目が大野元裕知事)

当日発表スライドより抜粋

検討部会で検討した事業・取組等について



「はんのう森林みらい塾」 令和5年8月4日に募集開始

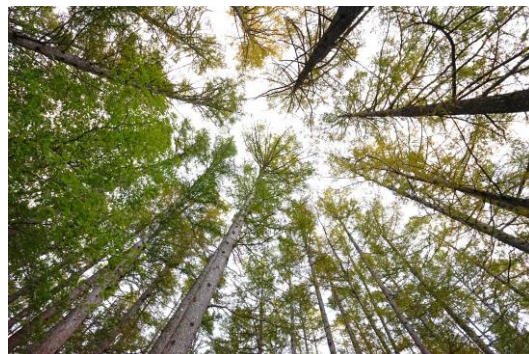
日経、読売、埼玉新聞はじめ、専門誌、
ネットニュース、ラジオなどで話題に

定員15名に100名近くの応募者集まる



はんのう森林プラットフォームとは？

目指す取組み



「江戸(東京)の西の川からくる木材」としてその名が付いた「西川材」は
飯能市と隣接する日高市、毛呂山町、越生町にまたがる西川林業地の名産品で、
2009年には地域ブランドとして商標登録されました。
江戸時代から現在に至るまで、西埼玉地域のまちづくりを支えてきた
埼玉県の森林を次世代へ、
さらに有益なかたちで繋げるプロジェクトを担う
新たな人材の育成を目指しています。

大野知事による講評

- ・発表で提示された課題は、県としてもとて
も頭の痛い問題と認識しており、新たな
森林の利活用について発信することには
大きな意義がある。
- ・(課題を解決するために)担い手やしくみ
(はんのう森林プラットフォーム)をつくる
ことは、素晴らしい取り組みである。
- ・地域における新たな森林の利活用のス
タートアップに対して、県も支援に取り組
んでいる。今後も担い手やしくみづくり、
利活用に連携していきたい。